

国営沖縄記念公園首里城地区における火災と復元に向けた取組

- ・国営公園事業として復元整備を進めてきた首里城において、令和元年10月31日に火災が発生し、正殿等主要施設が焼失。
- ・政府は、火災後速やかに「首里城復元のための関係閣僚会議」を設置し、令和元年12月「首里城復元に向けた基本的な方針」を決定。この方針の下、関係省庁における検討を進め、地元の有識者らによる「首里城復元に向けた技術検討委員会」における議論も踏まえて、令和2年3月「首里城正殿等の復元に向けた工程表」を決定。工程表に基づき復元に向けた取組を進めている。

○国営沖縄記念公園(首里城地区)の概要

- ・首里城は昭和61年の閣議決定に基づき、国直轄の国営公園事業として復元整備を実施。平成4年に正殿等が完成。
- ・その後も整備を続け、平成31年2月に全面開園となった。
- ・国営公園周辺は県営公園として一体的に整備。

○沖縄県による管理運営

- ・沖縄県の要望を踏まえ、国が県に管理許可を行い、平成31年2月より、沖縄県が首里城正殿等の管理運営を担当。(県指定管理者:沖縄美ら島財団)

○火災による焼失

- ・令和元年10月31日午前2時41分頃火災発生。同日午後1時半鎮火。
- ・人的被害はなかったものの、正殿を含む8棟が焼損。

○首里城正殿等の復元に向けた工程表(抄)

(2020年3月27日首里城復元のための関係閣僚会議)

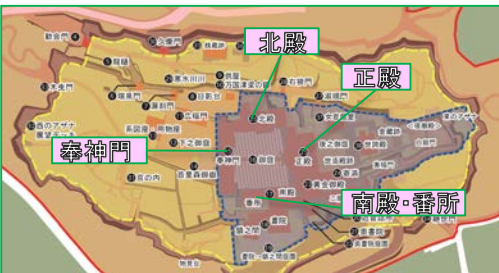
- ・首里城正殿について、令和2年度(2020年度)早期に設計に入り、令和4年(2022年)中には本体工事に着工し、令和8年(2026年)までに復元することを旨とすることとし、北殿や南殿等を含め復元に向けた取組みを進めることとする。その際、復元過程の公開や観光振興など地元のニーズに対応した施策を推進する。...

(別添)首里城正殿等の復元に向けたスケジュール

		(年度)								
		R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9以降
材料調査 (大径材)			市場調査							
	設計		基本設計	実施設計						
材料調達 (大径材)				調達	乾燥					
	工事		仮設道路 がれき撤去	木材倉庫	発注手続(WTO)		本体工事			
北殿、南殿等			撤去	正殿復元の施工ヤードとして使用					工事	
			検討							

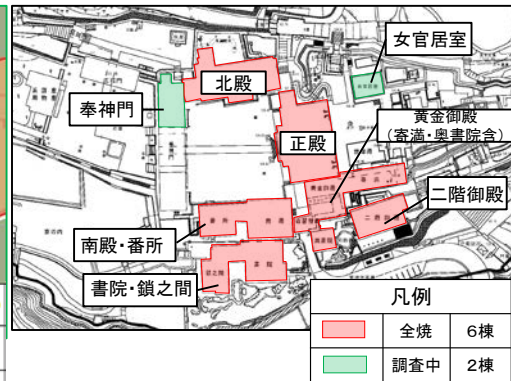
○予算

- ・首里城復元に向けた取組(国営公園事業)
 - 〔 R1補正 8億円
R2当初 38億円の内数(前年度予算より10億円増額) 〕
- ・沖縄振興特定事業推進費による沖縄の観光振興
 - 〔 交付決定額 6.9億円(うちR1補正 5億円) 〕



国営公園	国営沖縄記念公園運営維持管理業務	
	国の管理許可を受けた県による管理(指定管理者)	
県営公園	県営首里城公園の指定管理者等	

首里城公園の管理区分



R元年10月31日火災による被害状況
(R元年12月 那覇消防発表より作成)